

## 平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年7月31日

上場取引所 東大

上場会社名 エーザイ株式会社  
コード番号 4523 URL <http://www.eisai.co.jp>代表者 (役職名) 代表執行役社長 (氏名) 内藤 晴夫  
問合せ先責任者 (役職名) 執行役 コーポレートコミュニケーション部長 (氏名) 藤吉 彰

TEL 03-3817-5120

四半期報告書提出予定日 平成20年8月13日

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	195,819	—	24,061	—	23,863	—	16,635	—
20年3月期第1四半期	176,034	14.3	26,185	8.6	28,366	13.0	19,339	22.1

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	58.39	58.37
20年3月期第1四半期	68.07	67.98

## (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭	円 銭	
21年3月期第1四半期	1,165,343	—	473,866	—	40.2	—	1,646.26	
20年3月期	1,123,939	—	453,791	—	39.9	—	1,575.49	

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 469,015百万円 20年3月期 448,860百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	65.00	—	65.00	130.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	70.00	—	70.00	140.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	390,000	—	44,000	—	41,000	—	25,500	—	89.51
通期	806,000	9.8	93,000	423.9	87,000	361.5	56,000	—	196.56

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

## 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有  
② ①以外の変更 有

(注) 詳細は、11～12ページ【定性的情報・財務諸表等】 5. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第1四半期 296,566,949株 20年3月期 296,566,949株  
② 期末自己株式数 21年3月期第1四半期 11,668,940株 20年3月期 11,665,319株  
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第1四半期 284,900,238株 20年3月期第1四半期 284,129,210株

## ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 予想数値、予想の前提条件その他に関する事項については、8ページをご参照ください。  
2. 当第1四半期連結会計期間より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。  
3. 上記2により、サマリー情報の当連結会計年度に係る対前年同四半期増減率は記載していません。

【定性的情報・財務諸表等】

当文章中の前年同期と比較した指標、金額は「参考値」として記載しております。  
 なお、当四半期連結会計期間と前四半期連結会計期間との会計処理の変更に伴う差異は、11～12 ページ「5. その他」に記載しております。

1. 連結経営成績に関する概要

1) 当四半期の経営成績（平成20年4月1日～平成20年6月30日）

[売上高、利益の状況]

○ 当四半期の連結業績は次のとおりとなりました。

売上高	1,958億19百万円	(前年同期比)	11.2%増
営業利益	240億61百万円	(同)	8.1%減
経常利益	238億63百万円	(同)	15.9%減
四半期純利益	166億35百万円	(同)	14.0%減

○ 売上高については、アルツハイマー型認知症治療剤「アリセプト」が729億36百万円（前年同期比8.3%増）と増加しましたが、プロトンポンプ阻害型抗潰瘍剤「パリエット」（米国名「アシフェックス」）は408億44百万円（同9.0%減）となりました。所在地別には日本、北米、中国、アジア他が順調に伸長いたしました。

○ 前期の MGI PHARMA, INC.買収に伴うのれん償却額の計上や研究開発活動への積極的資源投入の結果、営業利益、経常利益、四半期純利益ともに減益となりました。

○ これにより、1株当たり四半期純利益は58円39銭（前年同期より9円67銭減）となりました。

<実業ベース>

○ 企業活動の実態を見るため、「GAAP ベース」（現行の会計基準ベース）から前期の MGI PHARMA, INC.買収に伴う企業結合会計特有の処理（非キャッシュ項目）を除き算出した「実業ベース」での連結業績は次のとおりとなりました。

営業利益	321億27百万円	(前年同期比)	22.7%増
経常利益	319億30百万円	(同)	12.6%増
四半期純利益	226億23百万円	(同)	17.0%増

○ これにより、実業ベースでの1株当たり四半期純利益は79円41銭（前年同期より11円34銭増）となりました。

<キャッシュ創出力>

○ 当社はキャッシュ・インカムを成長投資、事業開発、配当支払、借入返済等に使用可能なキャッシュの総額であり、「キャッシュ創出力」を表わすものと考えております。よって、企業の成長性・戦略を検証する尺度として記載しております。

キャッシュ・インカムは312億28百万円（前年同期比14.5%増）となりました。

\*キャッシュ・インカムの算式

四半期純利益+有形・無形固定資産償却費+インプロセス研究開発費+のれん償却額+減損損失

[セグメントの状況]

(各セグメントの売上高は外部顧客に対するものです)

(1) 事業の種類別セグメント

<医薬品分野>

- 「アリセプト」が伸長し、前期に買収した MGI PHARMA, INC.の主力2製品が売上増に貢献いたしました。
- この結果、医薬品分野の売上高は1,906億22百万円(前年同期比11.6%増)となりましたが、前期の MGI PHARMA, INC.買収に伴うのれん償却額の計上や研究開発活動への積極的資源投入により、営業利益は249億43百万円(同7.2%減)となりました。

<その他の分野>

- 食品添加物、化学品、製薬用機械等の売上高は51億97百万円(前年同期比0.3%増)、営業利益は2億6百万円(同38.8%減)となりました。

(2) 所在地別セグメント

<日 本>

- 売上高は844億73百万円(前年同期比7.9%増)、営業利益は221億90百万円(同3.4%減)となりました。
- 医療用医薬品では、「アリセプト」の売上高は194億42百万円(前年同期比30.3%増)、「パリエット」の売上高は110億42百万円(同23.4%増)とそれぞれ伸長いたしました。
- ヒト型抗ヒトTNF $\alpha$ モノクローナル抗体「ヒュミラ皮下注40mg シリンジ0.8mL」を関節リウマチの効能・効果で本年6月に新発売いたしました。

<北 米>

- 売上高は895億35百万円(前年同期比16.6%増)、営業利益は2億11百万円(同94.8%減)となりました。前期の MGI PHARMA, INC.買収に伴う企業結合会計特有の処理(非キャッシュ項目)を除き算出した「実業ベース」での営業利益は82億78百万円(前年同期比101.4%増)であります。
- 「アリセプト」の売上高は434億15百万円(前年同期比4.7%増、現地通貨では21.0%増)、「アシフェックス」の売上高は259億7百万円(同18.6%減、現地通貨では5.9%減)となりました。なお、制吐剤「Aloxi」の売上高は94億53百万円、DNAメチル化阻害剤「Dacogen」の売上高は43億61百万円となりました。
- 術後の悪心・嘔吐予防を効能・効果とする「Aloxi注射剤0.075mg」の販促活動を本年7月に開始いたしました。

<欧 州>

- 売上高は139億34百万円(前年同期比1.0%減)、営業利益は8億76百万円(同44.4%増)となりました。
- 「アリセプト」の売上高は79億52百万円(前年同期比13.4%減)、「パリエット」の売上高は24億57百万円(同1.2%減)となりました。

<中 国>

- 売上高は27億63百万円(前年同期比22.3%増)、営業利益は6億40百万円(同19.3%増)となりました。
- 「アリセプト」の売上高は1億28百万円(前年同期比162.6%増)、「パリエット」の売上高は1億28百万円(同41.1%減)となりました。

<ア ジア 他> (中国を除く)

- 売上高は51億13百万円(前年同期比10.5%増)、営業利益は13億41百万円(同19.2%増)となりました。
- 「アリセプト」の売上高は19億99百万円(前年同期比15.6%増)、「パリエット」の売上高は13億8百万円(同6.0%減)となりました。

<海 外 計>

- 日本を除く海外所在地別売上高の合計は、1,113億46百万円(前年同期比13.9%増)となり、売上高比率は56.9%(前年同期より1.3ポイント増)となりました。

## 2) 研究開発などの状況

## [開発品の状況]

- 抗がん剤「E7389」(微小管伸長阻害剤)は、乳がんを対象としたフェーズⅢ試験を欧米で実施しており、日本でもフェーズⅡ試験が進行中であります。また、非小細胞肺癌(米国)、前立腺がん(欧米)、肉腫(欧州)を対象としたフェーズⅡ試験が進行中であります。なお、平成20年6月に開催された第44回米国臨床腫瘍学会(ASCO)年次総会で、同剤が前治療歴の多い局所進行性または転移性乳がんに対する抗腫瘍効果を示した臨床試験(フェーズⅡ試験)成績が発表されました。
- AMPA受容体拮抗剤「E2007」は、神経因性疼痛、てんかんの2つの適応における開発に集中展開しております。欧米において、てんかんを対象としたフェーズⅢ試験を開始し、神経因性疼痛を対象としたフェーズⅡ試験が進行中であります。また、片頭痛予防に関しては米国でフェーズⅡ試験結果を踏まえて次試験計画の検討を進めており、多発性硬化症に関しては欧州でフェーズⅡ試験段階にあります。
- エンドトキシン拮抗剤「E5564」は、日本、米国、欧州での同時申請をめざして、重症敗血症を対象としたフェーズⅢ試験が進行中であります。本試験は、国際共同試験として取り組んでおります。
- DNAメチル化阻害剤「Dacogen」は、米国で骨髄異形成症候群の治療において5日間投与とする用法・用量追加の申請準備中であります。
- 抗てんかん剤「ゾネグラン」は、欧州で全般性てんかん(併用療法)を対象としたフェーズⅢ試験を開始いたしました。
- ヒト型抗ヒトTNF $\alpha$ モノクローナル抗体「ヒュミラ」は、日本で平成20年4月に関節リウマチの効能・効果で製造販売承認を取得いたしました。
- 平成20年5月、非イオン性造影剤「イオメロン350」「イオメロン350シリンジ」は、日本で肝臓領域のダイナミックコンピューター断層撮影における造影に関する用法・用量の追加承認を取得いたしました。あわせて、「イオメロン350シリンジ」の高容量製剤である135mL製剤の剤形追加承認も取得いたしました。
- 不眠症治療剤「SEP-190」(GABA-A受容体作動剤)は、日本で不眠症を対象としたフェーズⅢ試験を開始いたしました。
- アルツハイマー型認知症治療剤「アリセプト」は、米国で小児におけるがん化学療法に伴う認知機能障害を対象としたフェーズⅢ試験を開始いたしました。なお、小児におけるダウン症候群を対象としたフェーズⅡ試験が進行中であります。
- 平成20年6月、プロトンポンプ阻害型抗潰瘍剤「パリエット/アシフェックス」は、米国で青年期(12歳以上)胃食道逆流症の短期治療(上限8週間)に係る追加承認を取得いたしました。また、日本で逆流性食道炎の用法・用量追加に関するフェーズⅡ/Ⅲ試験を開始いたしました。

- 平成20年4月、欧州委員会は、抗がん剤「MORAb-003」(モノクローナル抗体)、抗がん剤「MORAb-009」(モノクローナル抗体)をオーファンドラッグ(希少疾病用医薬品)に指定いたしました。なお、平成20年6月に開催された第44回米国臨床腫瘍学会(ASCO)年次総会で、「MORAb-003」に関する卵巣がんを対象としたフェーズⅡ有効性試験の成績が発表されました。本剤は現在フェーズⅢ試験の準備段階にあります。
- 平成20年5月、FDA(米国食品医薬品局)の麻酔・生命維持薬諮問委員会が開催され、米国で申請中の鎮静剤「fospropofol disodium」について承認の推奨が採択されました。平成20年7月、FDAより本剤の承認申請に関し、非承認通知を受領いたしました。本通知において、FDAは適切な研修を受けた専門医による本剤使用の承認にいたる今後の方向性もあわせて示しております。

[主な提携などの状況]

- 平成20年4月、当社の診断薬事業子会社の三光純薬株式会社、ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社、日本光電工業株式会社と、ロシュ社(スイス)が開発したPT-INR(プロトロンビン時間国際標準比)簡易・迅速測定装置「コアグチェックXS」「コアグチェックXS Plus」ならびにその関連製品について、販売に関する各種契約を締結することに合意いたしました。これらの契約合意に基づき、平成20年6月より「コアグチェックXS」シリーズの日本での販売を日本光電工業とロシュ・ダイアグノスティックスから三光純薬に移管し、エーザイが販売支援を行っております。ロシュ・ダイアグノスティックスは従来どおり製造(輸入)販売元となり、日本光電工業は発売元として販売・技術面でのサポートを行っております。
- ライオン株式会社、ブリストル・マイヤーズ株式会社と、ライオン株式会社が日本で製造販売承認を有する医療用医薬品の抗血小板剤「バファリン81mg錠」、解熱鎮痛消炎剤「バファリン330mg錠」に関し、平成20年7月1日より販売元をブリストル・マイヤーズ株式会社から当社に変更することで合意し、平成20年5月、ライオン株式会社と日本における同製品の独占的販売権許諾に関する契約を締結いたしました。
- グラクソ・スミスクライン株式会社と、同社グループが製造し、日本で当社が販売していた鼻孔拡張テープ「ブリーズライト」シリーズの販売提携について、平成20年5月31日をもって終了することで合意いたしました。平成20年6月1日から、グラクソ・スミスクライン株式会社が日本で本製品を販売しております。
- 平成20年6月、当社の連結子会社である株式会社クリニカル・サプライの当社が所有する全株式(発行済株式数の84.8%)をテルモ株式会社に譲渡する旨の株式売買契約をテルモ株式会社との間で締結し、株式を譲渡いたしました。

[その他]

- 平成20年7月、米国連邦巡回控訴裁判所は、当社と当社の米国事業会社Eisai Inc.が、米国において後発医薬品メーカーに対して提訴していたプロトンポンプ阻害型抗潰瘍剤「アシフェックス」(日本での「製品名：パリエット」)に関する物質特許侵害訴訟について、米国ニューヨーク州南部地区連邦地方裁判所が示した本剤の物質特許が有効とする略式判決および本特許が権利行使可能であるとする判決の双方を支持するとの判断を示しました。

## 2. 連結財政状態に関する概要

### [資産等の状況]

- 当四半期末の資産合計は、1兆1,653億43百万円（前期末より414億4百万円増）となりました。主な増加は、売上債権、無形固定資産、繰延税金資産などであり、現金及び預金、投資有価証券などは減少いたしました。
- 負債合計は6,914億76百万円（前期末より213億28百万円増）となりました。主な増加は、売上割戻引当金、未払債務などであり、
- 純資産合計は4,738億66百万円（前期末より200億75百万円増）となり、自己資本比率は40.2%（前期末より0.3ポイント増）となりました。

### [資金調達の状況]

- 前期にMGI PHARMA, INC.の買収資金として短期借入を行いました。短期借入金返済資金として本年4月に米国において700万ドルの長期借入を行い、本年6月に国内において1,200億円の無担保普通社債を発行いたしました。その結果、短期借入金1,687億14百万円（前期末より1,941億5百万円減）、社債1,208億65百万円（前期末より1,200億35百万円増）、長期借入金1,244億94百万円（前期末より744億94百万円増）となりました。

### [キャッシュ・フローの状況]

- 当四半期の営業活動から得たキャッシュ・フローは、185億64百万円（前年同期より107億43百万円増）となりました。税金等調整前四半期純利益は251億77百万円、減価償却費は122億68百万円、売上債権の増加額は178億30百万円、法人税等の支払額は154億62百万円です。
- 投資活動によるキャッシュ・フローは、77億36百万円の支出（前年同期より382億21百万円減）となりました。そのうち、有形固定資産の取得に115億46百万円を支出いたしました。
- 財務活動によるキャッシュ・フローは、200億3百万円の支出（前年同期より13億2百万円増）となりました。配当金の支払いに185億18百万円を支出いたしました。
- 以上の結果、当第1四半期末における現金及び現金同等物は、1,129億77百万円（前期末より69億72百万円減）となりました。

## 3. 平成21年3月期の連結業績予想 (平成20年4月1日～平成21年3月31日)

[連結業績予想]

○ 第2四半期連結累計期間、通期の連結業績予想については変更していません。

(%表示は、通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 連結累計期間	390,000	—	44,000	—	41,000	—	25,500	—	89.51
通期	806,000	9.8	93,000	423.9	87,000	361.5	56,000	—	196.56

[将来予想に関する事項と事業等のリスク]

○ 本発表において提供される資料ならびに情報は、現在における予想、目標、評価、見通し、リスクを伴う想定などの不確実性に基づくものを含んでおります。従って、さまざまな要因の変化により、将来予想などが実際の結果と大きく乖離する可能性があります。リスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった日本および国際的な経済状況が含まれております。

○ 当社グループの連結業績を大幅に変動させる、あるいは投資判断に重要な影響を及ぼす可能性のあるリスクは、次のとおりであります。なお、これらのリスクは、本資料作成日現在において判断、予想したものであります。

海外展開におけるリスク、新薬開発の不確実性、特定の製品への依存に関するリスク、他社とのアライアンスにおけるリスク、MGI PHARMA, INC.買収に関するリスク、医療費抑制策、後発医薬品に関する競合・訴訟、知的財産に関するリスク、副作用発現のリスク、法規制に関するリスク、訴訟に関するリスク、工場の閉鎖または操業停止、使用原材料の安全性に関するリスク、外部への業務委託に関するリスク、環境に関するリスク、ITセキュリティおよび情報管理に関するリスク、金融市況および為替の動向に関するリスク、ならびに内部統制の整備等に係るリスク。

なお、上記リスク項目の詳細に関しては、当社の有価証券報告書の「事業等のリスク」をご参照ください。



#### 4. コーポレートガバナンスに関連する事項

##### 1) 取締役の選任

平成20年6月20日開催の当社第96回定時株主総会において、社外取締役7名を含む11名の取締役が選任され、それぞれ就任いたしました。

なお、取締役候補者については、指名委員会が自ら定めた取締役候補者選任基準に則り選任し、議案として上程いたしました。特に、社外取締役候補者については、会社法施行規則第2条第3項第7号に定める社外取締役の要件を満たすとともに、以下の指名委員会が定めた社外取締役の独立性の要件を満たしております。

##### 「社外取締役の独立性の要件」

(平成18年11月29日改正)

- |   |
|---|
| <p>1. 社外取締役は、以下の要件を含み、会社から経済的に独立していなければならない。</p> <p>① 社外取締役は、過去5年間に、当社または当社の関係会社の以下に定める主要取引先（持株会社を含む）の取締役、執行役、その他の役員であってはならない。</p> <p>ア. 過去5年間のいずれかの会計年度に、当社または当社の関係会社との業務、取引の対価の支払額または受取額が、取引先の売上高の2%以上ある取引先</p> <p>イ. 取引額にかかわらず、当社の監査法人等、当社または当社の関係会社と実質的な利害関係を有する取引先</p> <p>② 社外取締役は、過去5年間に、当社または当社の関係会社から一定額以上の報酬（当社からの取締役報酬を除く）または業務、取引の対価等金銭その他の財産を直接受け取ってはならない。</p> <p>ア. 一定額以上とは、過去5年間のいずれかの会計年度における受取額が1千万円以上となるものをいう</p> <p>イ. 本人が間接的に受け取っている場合は、その実質について慎重に判断する</p> <p>2. 社外取締役は、当社または当社の関係会社の取締役、執行役の近親者またはそれに類する者であってはならない。</p> <p>① 近親者とは、配偶者、三親等までの血族および同居の親族をいう。</p> <p>② それに類する者とは、個人的な利害関係者など、独立取締役としての職務を果たせないと合理的に認められる人間関係を有している者をいう。</p> <p>3. 社外取締役は、第1項に該当する者と生計を一にする利害関係者であってはならない。</p> <p>4. 社外取締役は、本条に定める独立性の要件を、取締役就任後も継続して確保するものとする。</p> |
|---|

## 2) 取締役体制の決定

定時株主総会終了後の取締役会において、取締役議長の選定ならびに指名、監査および報酬委員会の各委員長および委員が選定され、それぞれ就任し、次のとおり取締役の体制が決定されました。

取締役	内藤晴夫	代表執行役社長兼最高経営責任者(CEO)
取締役	天明質	監査委員会委員
取締役	小川哲司	監査委員会委員
取締役	三井博行	
社外取締役	岸本義之	監査委員会委員
社外取締役	コー・ヤン・タン	報酬委員会委員長、指名委員会委員
社外取締役	八田進二	監査委員会委員長
社外取締役	谷川紀彦	取締役議長
社外取締役	安崎暁	指名委員会委員長、報酬委員会委員
社外取締役	宮原諄二	指名委員会委員、報酬委員会委員
社外取締役	矢吹公敏	監査委員会委員

なお、同日開催された社外取締役だけで構成される社外取締役独立委員会（委員長：岸本義之）では、「当社企業価値・株主共同の利益の確保に関する対応方針」（以下、本対応方針）について、法令名の変更による一部表記の変更はありますが、本対応方針が以下の仕組みを有しており、内容としては現行で継続することを当社取締役会に提案する旨決議いたしました。

- ① 経営陣の恣意性が排除されている。
- ② 本対応方針は、毎年、継続・見直し・廃止が検討される。
- ③ 取締役選任議案をもって、本対応方針に対する株主の皆様のご意向を反映できる。

平成20年7月31日開催の取締役会において、社外取締役独立委員会から提案のあった本対応方針の継続が審議され、承認されました。本件については、同日、「当社企業価値・株主共同の利益の確保に関する対応方針の継続について」としてリリースいたしました。

本対応方針の内容については、当社のホームページに掲載しておりますのでご参照ください。<http://www.eisai.co.jp/company/governance.html>

## 5. その他

### 1) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

#### (1) 会計処理基準に関する事項の変更

① 当第1四半期連結会計期間より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)および「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

② 当社および国内連結子会社は、通常の販売目的で保有するたな卸資産について、従来、主として総平均法による原価法によっておりましたが、当第1四半期連結会計期間より「たな卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号)が適用されたことに伴い、主として総平均法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)により算定しております。

これに伴う、営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

③ 当第1四半期連結会計期間より、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第18号)を適用し、連結決算上必要な修正を行っております。

これにより、営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益は、それぞれ2,384百万円減少しております。なお、セグメント情報に与える影響については、当該箇所に記載しております。

④ 所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号)および「リース取引に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第16号)を当第1四半期連結会計期間から早期適用し、通常の売買取引に係る会計処理によっております。また、所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産の減価償却の方法については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

これに伴う、営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

#### (2) (1)以外の変更

① 従来、当社および国内連結子会社の有形固定資産の減価償却方法は定率法によっておりましたが、当第1四半期連結会計期間より海外連結子会社が採用している定額法に変更いたしました。

この変更は、主に次の3つの理由により当連結グループの会計処理の統一と期間損益の適正化をはかるために判断したものであります。1. 平成18年から開始した中期戦略計画により今後益々、有形固定資産に占める海外比率が高まる見通しであるこ

と、およびグローバルな事業展開の重要性が増すなかで国際財務報告基準や米国会計基準を勘案し、海外連結子会社と減価償却方法の整合性をはかること、2. 当連結グループの製品群からは長期的かつ安定的な収益の獲得が見込まれることから、定額償却の方が収益に対応した減価償却費の配分をより適正に反映できること、3. 当社および国内連結子会社の有形固定資産は、一般的に耐用年数内で安定的に稼働しており、設備等の営繕や維持も定期的、計画的に実施されるため、修繕維持費は今後も平準化の見込みであること。

この変更により、従来の方法によった場合に比べ、減価償却費は575百万円減少し、営業利益、経常利益、税金等調整前四半期純利益はそれぞれ387百万円増加しております。

また、残存価額についても、有形固定資産の減価償却方法の変更を契機に当連結グループの会計処理方法を海外連結子会社が適用している方法に統一し、耐用年数で実質的残存価額（備忘価額1円）まで償却する方法に変更しております。

この変更により、従来の方法によった場合に比べ、減価償却費は517百万円増加し、営業利益、経常利益、税金等調整前四半期純利益はそれぞれ340百万円減少しております。

なお、上記の定額法への変更および残存価額の変更による影響額を合算すると、従来の方法によった場合に比べ、減価償却費は58百万円減少し、営業利益、経常利益、税金等調整前四半期純利益はそれぞれ46百万円増加しております。また、セグメント情報に与える影響については、当該箇所に記載しております。

## 6. 四半期連結財務諸表

## 1) 四半期連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	58,082	68,593
受取手形及び売掛金	193,503	172,143
有価証券	62,922	56,287
商品	15,180	15,886
製品	15,630	16,184
半製品	8,845	8,598
原材料	14,241	13,059
仕掛品	5,968	4,362
繰延税金資産	35,390	35,399
その他	23,999	25,361
貸倒引当金	△330	△308
流動資産合計	433,435	415,568
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	70,254	70,750
その他	84,790	76,332
有形固定資産合計	155,045	147,083
無形固定資産		
のれん	185,475	178,671
販売権	167,260	164,247
技術資産	64,302	61,346
その他	13,220	13,424
無形固定資産合計	430,258	417,690
投資その他の資産		
投資有価証券	84,939	89,544
繰延税金資産	51,263	43,650
その他	10,993	10,994
貸倒引当金	△591	△591
投資その他の資産合計	146,604	143,597
固定資産合計	731,908	708,370
資産合計	1,165,343	1,123,939

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,577	18,307
短期借入金	168,714	362,819
未払金	62,384	59,932
未払費用	61,913	56,738
未払法人税等	16,037	16,088
売上割戻引当金	31,079	23,324
その他の引当金	450	437
その他	7,968	5,542
流動負債合計	367,126	543,191
固定負債		
社債	120,865	830
長期借入金	124,494	50,000
繰延税金負債	42,365	40,249
退職給付引当金	23,327	24,104
役員退職慰労引当金	2,266	2,140
負ののれん	1,380	1,461
その他	9,651	8,170
固定負債合計	324,350	126,956
負債合計	691,476	670,147
純資産の部		
株主資本		
資本金	44,985	44,985
資本剰余金	56,966	56,966
利益剰余金	412,206	415,961
自己株式	△39,708	△39,694
株主資本合計	474,450	478,219
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	9,924	9,509
為替換算調整勘定	△15,360	△38,868
評価・換算差額等合計	△5,435	△29,359
新株予約権	556	556
少数株主持分	4,295	4,374
純資産合計	473,866	453,791
負債純資産合計	1,165,343	1,123,939

## 2) 四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)
売上高	195,819
売上原価	39,345
売上総利益	156,474
返品調整引当金繰入(△戻入)額	6
差引売上総利益	156,467
販売費及び一般管理費(※)	132,406
営業利益	24,061
営業外収益	
受取利息	800
受取配当金	546
為替差益	240
負ののれん償却額	81
その他	101
営業外収益合計	1,769
営業外費用	
支払利息	1,514
社債発行費	348
持分法による投資損失	8
その他	95
営業外費用合計	1,967
経常利益	23,863
特別利益	
固定資産売却益	4
投資有価証券売却益	432
子会社株式譲渡益	1,575
特別利益合計	2,011
特別損失	
固定資産処分損	59
投資有価証券評価損	610
その他	28
特別損失合計	698
税金等調整前四半期純利益	25,177
法人税、住民税及び事業税	16,041
法人税等調整額	△7,699
法人税等合計	8,341
少数株主利益	199
四半期純利益	16,635

### 3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前四半期純利益	25,177
減価償却費	12,268
のれんおよび負ののれん償却額	2,309
その他の損益項目	464
売上債権の増減額(増加:△)	△17,830
たな卸資産の増減額(増加:△)	△594
仕入債務の増減額(減少:△)	△511
その他流動負債の増減額(減少:△)	6,549
売上割戻引当金の増減額(減少:△)	6,194
その他	76
小計	34,104
利息及び配当金の受取額	1,395
利息の支払額	△1,472
法人税等の支払額	△15,462
営業活動によるキャッシュ・フロー	18,564
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有形固定資産の取得による支出	△11,546
無形固定資産の取得による支出	△760
有価証券・投資有価証券の取得による支出	△8,004
有価証券・投資有価証券の売却・償還による収入	11,312
その他	1,262
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,736
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
短期借入金の純増減額(減少:△)	△193,825
長期借入れによる収入	73,185
社債の発行による収入	119,616
配当金の支払額	△18,518
その他	△461
財務活動によるキャッシュ・フロー	△20,003
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,202
現金及び現金同等物の増減額(減少:△)	△6,972
現金及び現金同等物の期首残高	119,950
現金及び現金同等物の四半期末残高	112,977



当第1四半期連結会計期間より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

#### 4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

#### 5) セグメント情報

##### (1) 事業の種類別セグメント情報

当第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)

	医薬品分野 (百万円)	その他の分野 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	190,622	5,197	195,819	—	195,819
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	58	3,629	3,688	(3,688)	—
計	190,681	8,827	199,508	(3,688)	195,819
営業利益	24,943	206	25,150	(1,089)	24,061

(注) 1 当連結グループの事業区分は、医療用医薬品を中心とする「医薬品分野」とこれに属さない「その他の分野」であります。

##### 2 各事業区分の主要製品

事業区分	主要製品
医薬品分野	医療用医薬品、一般用医薬品、診断用医薬品等
その他の分野	食品添加物、化学品、製薬用機械、その他

##### 3 会計処理の方法の変更

(連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い)

「四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続き、表示方法等の変更」に記載のとおり、当第1四半期連結会計期間より、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第18号)を適用し、連結決算上必要な修正を行っております。これに伴い、営業利益は、医薬品分野において2,384百万円減少しております。

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

「四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続き、表示方法等の変更」に記載のとおり、従来、当社および国内連結子会社の有形固定資産の減価償却方法は定率法によっておりましたが、当第1四半期連結会計期間より海外連結子会社が採用している定額法に変更いたしました。これに伴い、従来の方法によった場合と比べ、営業利益は、医薬品分野において352百万円、その他の分野において34百万円それぞれ増加しております。

また、残存価額について、耐用年数で実質的残存価額(備忘価額1円)まで償却する方法へ変更したことに伴い、営業利益は、医薬品分野において329百万円、その他の分野において11百万円それぞれ減少しております。

なお、上記の定額法への変更および残存価額の変更による影響額を合算すると、従来の方法によった場合に比べ、営業利益は医薬品分野において22百万円、その他の分野において23百万円それぞれ増加しております。

(2) 所在地別セグメント情報

当第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	欧州 (百万円)	中国 (百万円)	アジア他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高								
(1) 外部顧客に対する売上高	84,473	89,535	13,934	2,763	5,113	195,819	—	195,819
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	25,248	14,094	9,648	9	103	49,105	(49,105)	—
計	109,721	103,629	23,582	2,773	5,216	244,925	(49,105)	195,819
営業利益	22,190	211	876	640	1,341	25,260	(1,199)	24,061

(注) 1 国または地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦および中国以外の区分に属する主な国または地域

① 北 米：米国、カナダ

② 欧 州：英国、フランス、ドイツ等

③ アジア他：中国を除くアジア諸国および中南米諸国等

3 日本におけるセグメント間の内部売上高は、主として親会社からの海外子会社に対する製品売上高等であります。また、北米、欧州、アジア他におけるセグメント間の内部売上高は、主として海外研究開発子会社の親会社への売上高であります。

4 所在地区分の変更

当連結グループは、従来、所在地の区分を、日本、北米、欧州、アジア他としておりましたが、中国の重要性が増したことにより、中国事業担当執行役を任命するなどグループ管理体制を変更いたしました。よって、当第1四半期連結会計期間より、アジア他に含めておりました中国を独立掲記いたしました。

5 会計処理の方法の変更

(連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い)

「四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続き、表示方法等の変更」に記載のとおり、当第1四半期連結会計期間より、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第18号)を適用し、連結決算上必要な修正を行っております。これに伴い、営業利益は、北米において2,347百万円減少しております。欧州、アジア他においての影響は軽微であります。

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

「四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続き、表示方法等の変更」に記載のとおり、従来、当社および国内連結子会社の有形固定資産の減価償却方法は定率法によっておりましたが、当第1四半期連結会計期間より海外連結子会社が採用している定額法に変更いたしました。これに伴い、従来の方法によった場合と比べ、日本において、営業利益は387百万円増加しております。

また、残存価額について、耐用年数で実質的残存価額(備忘価額1円)まで償却する方法へ変更したことに伴い、日本において、営業利益は340百万円減少しております。

なお、上記の定額法への変更および残存価額の変更による影響額を合算すると、従来の方法によった場合に比べ、日本において、営業利益は46百万円増加しております。

(3) 海外売上高

当第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)

	北 米	欧 州	中 国	アジア他	計
I 海外売上高(百万円)	91,393	18,179	2,763	6,061	118,397
II 連結売上高(百万円)					195,819
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	46.7	9.3	1.4	3.1	60.5

(注) 1 地域区分は、地理的近接度によっております。

2 中国以外の区分に属する主な国または地域

① 北 米：米国、カナダ

② 欧 州：英国、フランス、ドイツ等

③ アジア他：中国を除くアジア諸国および中南米諸国等

3 海外売上高は当連結グループの本邦以外の国または地域における売上高であります。

4 所在地区分の変更と同様の理由により、当第1四半期連結会計期間より、アジア他に含めておりました中国を独立掲記いたしました。

6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

7. その他の情報

注記項目

(四半期連結損益計算書関係)

当第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	
※ 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。	
研究開発費	35,745 百万円
販売諸費	50,225 百万円
給与・賞与	16,779 百万円

(参考資料)

前四半期に係る連結財務諸表

四半期連結損益計算書

	前第1四半期連結累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年6月30日)	
区 分	金 額 (百万円)	
I 売上高		176,034
II 売上原価		27,601
売上総利益		148,432
返品調整引当金繰入(△戻入)額		△97
差引売上総利益		148,530
III 販売費及び一般管理費		
1 研究開発費	30,506	
2 販売費・一般管理費	91,838	122,344
営業利益		26,185
IV 営業外収益		2,352
V 営業外費用		170
経常利益		28,366
VI 特別利益		2,218
VII 特別損失		34
税金等調整前四半期純利益		30,550
法人税、住民税及び事業税	13,537	
法人税等調整額	△2,560	10,976
少数株主利益		234
四半期純利益		19,339

## 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前第1四半期連結累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年6月30日)
区 分	金 額 (百万円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
1 税金等調整前四半期純利益	30,550
2 減価償却費	7,295
3 減損損失	—
4 貸倒引当金の増減額(減少:△)	3
5 受取利息及び受取配当金	△1,865
6 支払利息	15
7 持分法による投資損益(利益:△)	△1
8 固定資産除売却損益(利益:△)	20
9 有価証券・投資有価証券売却損益(利益:△)	△2,203
10 有価証券・投資有価証券評価損	4
11 売上債権の増減額(増加:△)	2,004
12 たな卸資産の増減額(増加:△)	△388
13 仕入債務の増減額(減少:△)	△3,719
14 その他流動負債の増減額(減少:△)	△3,491
15 売上割戻引当金の増減額(減少:△)	△2,580
16 退職給付引当金の増減額(減少:△)	△1,202
17 その他	396
小 計	24,839
18 利息及び配当金の受取額	1,934
19 利息の支払額	△26
20 法人税等の支払額	△18,926
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,821
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
1 有価証券の取得による支出	△119
2 有価証券の売却・償還による収入	229
3 有形固定資産の取得による支出	△8,150
4 有形固定資産の売却による収入	36
5 無形固定資産の取得による支出	△5,479
6 投資有価証券の取得による支出	△6
7 投資有価証券の売却・償還による収入	9,349
8 買収による支出	△40,357
9 3カ月超預金の純増減額(増加:△)	△692
10 その他	△768
投資活動によるキャッシュ・フロー	△45,957
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
1 短期借入金の純増減額(減少:△)	△123
2 配当金の支払額	△18,468
3 少数株主への配当金の支払額	△47
4 その他	△61
財務活動によるキャッシュ・フロー	△18,700
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	5,374
V 現金及び現金同等物の増減額(減少:△)	△51,462
VI 現金及び現金同等物の期首残高	171,090
VII 現金及び現金同等物の四半期末残高	119,628

## セグメント情報

## (1) 事業の種類別セグメント情報

前第1四半期連結累計期間(自平成19年4月1日至平成19年6月30日)

	医薬品分野 (百万円)	その他の分野 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	170,853	5,180	176,034	—	176,034
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	42	3,807	3,849	(3,849)	—
計	170,895	8,988	179,883	(3,849)	176,034
営業費用	144,013	8,651	152,664	(2,815)	149,848
営業利益	26,882	337	27,219	(1,034)	26,185

(注) 1 当連結グループの事業区分は、医療用医薬品を中心とする「医薬品分野」とこれに属さない「その他の分野」であります。

## 2 各事業区分の主要製品

事業区分	主要製品
医薬品分野	医療用医薬品、一般用医薬品、診断用医薬品等
その他の分野	食品添加物、化学品、製薬用機械、その他

## (2) 所在地別セグメント情報

前第1四半期連結累計期間(自平成19年4月1日至平成19年6月30日)

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	欧州 (百万円)	アジア他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	78,273	76,792	14,078	6,889	176,034	—	176,034
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	26,360	12,466	5,696	13	44,537	(44,537)	—
計	104,633	89,259	19,775	6,902	220,571	(44,537)	176,034
営業費用	81,663	85,148	19,168	5,240	191,221	(41,372)	149,848
営業利益	22,969	4,110	607	1,662	29,350	(3,165)	26,185

(注) 1 国または地域の区分は、地理的近接度によっております。

## 2 本邦以外の区分に属する主な国または地域

① 北米：米国、カナダ

② 欧州：英国、フランス、ドイツ等

③ アジア他：東アジア・東南アジア諸国および中南米諸国等

## 3 日本におけるセグメント間の内部売上高は、主として親会社からの海外子会社に対する製品売上高等であります。また、北米、欧州、アジア他におけるセグメント間の内部売上高は、主として海外研究開発子会社の親会社への売上高であります。

(3) 海外売上高

前第1四半期連結累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日)

	北 米	欧 州	アジア他	計
I 海外売上高(百万円)	79,152	18,749	7,844	105,746
II 連結売上高(百万円)				176,034
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	45.0	10.6	4.5	60.1

(注) 1 地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国または地域

① 北 米：米国、カナダ

② 欧 州：英国、フランス、ドイツ等

③ アジア他：東アジア・東南アジア諸国および中南米諸国等

3 海外売上高は当連結グループの本邦以外の国または地域における売上高であります。

# 2008.6

# 参考資料

平成21年3月期第1四半期決算

2008年7月31日



エーザイ株式会社

お問い合わせ  
コーポレートコミュニケーション部  
TEL 03-3817-5120 FAX 03-3811-3077

<http://www.eisai.co.jp/ir/>



## **【将来予想に関する事項と事業等のリスク】**

本発表において提供される資料ならびに情報は、現在における予想、目標、評価、見通し、リスクを伴う想定などの不確実性に基づくものを含んでおります。従って、さまざまな要因の変化により、将来予想などが実際の結果と大きく乖離する可能性があります。リスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった日本および国際的な経済状況が含まれております。

当社グループの連結業績を大幅に変動させる、あるいは投資判断に重要な影響を及ぼす可能性のあるリスクは、次のとおりであります。なお、これらのリスクは、本資料作成日現在において判断、予想したものであります。

海外展開におけるリスク、新薬開発の不確実性、特定の製品への依存に関するリスク、他社とのアライアンスにおけるリスク、MGI PHARMA, INC.買収に関するリスク、医療費抑制策、後発医薬品に関する競合・訴訟、知的財産に関するリスク、副作用発現のリスク、法規制に関するリスク、訴訟に関するリスク、工場の閉鎖または操業停止、使用原材料の安全性に関するリスク、外部への業務委託に関するリスク、環境に関するリスク、ITセキュリティおよび情報管理に関するリスク、金融市況および為替の動向に関するリスク、ならびに内部統制の整備等に係るリスク。

## 目次

	ページ
1. 連結財務ハイライト	1
2. 連結損益計算書	3
3. 連結キャッシュ・フロー計算書	4
4. セグメント情報	5
5. 連結貸借対照表	10
6. 連結四半期業績の推移	12
7. 個別情報	16
8. 主要開発品	20
9. 主なイベント	25

- \* 当資料中の数字は、四捨五入で表示しております。
- \* 当資料の作成に用いた為替レートは、下表のとおりであります。
- \* 海外の損益情報については、期中平均レートを用いて円換算しております。

### 為替レート

		米国 (円/US\$)	欧州 (円/€)	英国 (円/£)
2008年3月期第1四半期	期中平均レート	120.78	162.71	239.78
	期末日レート	123.26	165.64	246.88
2008年3月期	期中平均レート	114.28	161.52	229.44
	期末日レート	100.19	158.19	200.11
2009年3月期第1四半期	期中平均レート	104.55	163.42	206.06
	期末日レート	106.42	168.07	212.35
2009年3月期	予想レート	105.00	155.00	205.00

### 【本資料の記載項目について】

当社グループでは、企業評価において最も本質的な能力はキャッシュ創出力と考えております。この基本的考え方に基づき、真の収益力を反映することを目的として、企業買収などで発生するのれん償却額や一括費用計上するインプロセス研究開発費、また、有形・無形固定資産の償却費、減損損失という非キャッシュ損益項目を調整した「キャッシュ・インカム」「1株当たりキャッシュ・インカム（キャッシュEPS）」を表示しております。

- \* **キャッシュ・インカム**  
成長投資、事業開発、配当支払、借入返済等に使用可能なキャッシュの総額であり、キャッシュ創出力を表わすもの（企業の成長性・戦略を検証する尺度）であると考えております。  
算式：当期純損益＋有形・無形固定資産償却費＋インプロセス研究開発費＋のれん償却額－減損損失
- \* **1株当たりキャッシュ・インカム（キャッシュEPS）**  
算式：キャッシュ・インカム÷発行済株式数（自己株式控除後）
- \* **インプロセス研究開発費（IPR&D費）**  
特定の研究活動の目的で利用され、将来他の目的に使用できない資産であり、研究開発費として一括して計上される費用のことであります。

会計基準等の改正に伴い、本資料に記載している前年同期と比較した指標および金額は、「参考値」として表示しております。

## 1. 連結財務ハイライト

### 1) 損益計算書項目

	第1四半期			通期	
	2008年 3月期	2009年 3月期	前年同期比 %	2008年 3月期	2009年 3月期(予)
	(億円)				
売上高	1,760	<b>1,958</b>	111.2	7,343	8,060
売上原価	275	<b>394</b>	143.1	1,188	1,500
研究開発費	305	<b>357</b>	117.2	2,254	1,540
販売費・一般管理費	918	<b>967</b>	105.3	3,723	4,090
営業利益	262	<b>241</b>	91.9	177	930
経常利益	284	<b>239</b>	84.1	189	870
四半期(当期)純利益(△損失)	193	<b>166</b>	86.0	△170	560
キャッシュ・インカム	273	<b>312</b>	114.5	1,055	1,165
			(前期差)		
1株当たり配当金(DPS/円)	—	—	—	130.0	140.0
1株当たり四半期(当期)純利益(△損失)(EPS/円)	68.1	<b>58.4</b>	△9.7	△59.8	196.6
1株当たりキャッシュ・インカム(キャッシュEPS/円)	96.0	<b>109.6</b>	13.7	370.8	408.9

\*売上原価には返品調整引当金繰入(戻入)額を含めて表示しております。

### <補足資料>

#### ※連結損益計算書(実業ベース)

	第1四半期					通期	
	(GAAPベース)		企業結合 会計処理	(実業ベース)		(実業ベース)	
	2008年 3月期	2009年 3月期		2009年 3月期	前年同期比 %	2008年 3月期	2009年 3月期(予)
売上高	1,760	<b>1,958</b>		<b>1,958</b>	111.2	7,343	8,060
売上原価	275	<b>394</b>	<b>56</b>	<b>338</b>	122.8	1,133	1,305
研究開発費	305	<b>357</b>	<b>2</b>	<b>355</b>	116.5	1,378	1,531
販売費・一般管理費	918	<b>967</b>	<b>23</b>	<b>944</b>	102.8	3,723	3,998
営業利益	262	<b>241</b>	<b>(81)</b>	<b>321</b>	122.7	1,108	1,225
経常利益	284	<b>239</b>	<b>(81)</b>	<b>319</b>	112.6	1,119	1,165
四半期(当期)純利益	193	<b>166</b>	<b>(60)</b>	<b>226</b>	117.0	707	783
					(前期差)		
1株当たり四半期(当期)純利益(EPS/円)	68.1	<b>58.4</b>		<b>79.4</b>	11.3	248.6	274.8

\*売上原価には返品調整引当金繰入(戻入)額を含めて表示しております。

※実業ベース：企業活動の実態を見るため、GAAPベース(現行の会計基準ベース)から前期のMGI PHARMA, INC. 買収に伴う企業結合会計特有の処理(非キャッシュ項目)を除き算出しております。

#### [企業結合会計処理の内容]

- 売上原価：販売権償却費、たな卸資産評価アップ分
- 研究開発費：技術資産償却費
- 販売費・一般管理費：のれん償却額

## 2) キャッシュ・フロー計算書項目

	第1四半期			通期
	2008年 3月期	2009年 3月期	増減額	2008年 3月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	78	<b>186</b>	107	732
投資活動によるキャッシュ・フロー	△460	<b>△77</b>	382	△4,764
財務活動によるキャッシュ・フロー	△187	<b>△200</b>	△13	3,754
現金及び現金同等物の期末残高	1,196	<b>1,130</b>	△67	1,200
フリー・キャッシュ・フロー	△461	<b>63</b>	524	△4,159

\*フリー・キャッシュ・フロー＝（営業活動によるキャッシュ・フロー）－（資本的支出等（買収などを含む））

## 3) 貸借対照表項目

	2008年		
	3月末	6月末	増減額
総資産	11,239	<b>11,653</b>	414
負債	6,701	<b>6,915</b>	213
社債	10	<b>1,209</b>	1,199
借入金	4,128	<b>2,932</b>	△1,196
純資産	4,538	<b>4,739</b>	201
自己資本	4,489	<b>4,690</b>	202
自己資本比率（％）	39.9	<b>40.2</b>	0.3

## 4) 資本的支出及び減価償却費の状況

	第1四半期			通期
	2008年 3月期	2009年 3月期	増減額	2008年 3月期
資本的支出額	462	<b>85</b>	△377	4,340
有形固定資産	39	<b>75</b>	36	398
無形固定資産	423	<b>10</b>	△413	3,943
減価償却費	73	<b>123</b>	50	346

\*資本的支出額にはモルフォテック社ならびにMGI PHARMA, INC.買収による資産の増加を含めて表示しております。

\*減価償却費には無形固定資産に対する償却費を含めて表示しております。

## 2. 連結損益計算書

(億円)

	第1四半期						備考
	2008年 3月期	売上比 %	2009年 3月期	売上比 %	前年同期比 %	増減額	
売上高	1,760	100.0	<b>1,958</b>	100.0	111.2	198	■売上高 <増加要因> ・アリセプトの伸長、 MGI PHARMA, INC.製品の の売上
売上原価	276	15.7	<b>393</b>	20.1	142.5	117	
返品調整引当金繰入(△戻入)額	△1	△0.1	<b>0</b>	0.0		1	
売上総利益	1,485	84.4	<b>1,565</b>	79.9	105.3	79	■研究開発費 <増加要因> ・臨床研究テーマの進捗
研究開発費	305	17.3	<b>357</b>	18.3	117.2	52	
販売費・一般管理費	918	52.2	<b>967</b>	49.4	105.3	48	
営業利益	262	14.9	<b>241</b>	12.3	91.9	△21	
営業外収益	24	1.3	<b>18</b>	0.9		△6	
営業外費用	2	0.1	<b>20</b>	1.0		18	
経常利益	284	16.1	<b>239</b>	12.2	84.1	△45	
特別利益	22	1.3	<b>20</b>	1.0		△2	
特別損失	0	0.0	<b>7</b>	0.4		7	
税金等調整前四半期純利益	306	17.4	<b>252</b>	12.9	82.4	△54	
法人税、住民税及び事業税	135	7.7	<b>160</b>	8.2	118.5	25	
法人税等調整額	△26	△1.4	<b>△77</b>	△3.9		△51	
少数株主利益	2	0.1	<b>2</b>	0.1		△0	
四半期純利益	193	11.0	<b>166</b>	8.5	86.0	△27	

### <キャッシュ創出力>

四半期純利益	193	11.0	<b>166</b>	8.5	86.0	△27
有形・無形固定資産償却費	68		<b>69</b>			1
買収に伴う無形固定資産償却費	5		<b>54</b>			49
インプロセス研究開発費	6		<b>—</b>			△6
のれん償却額	0		<b>23</b>			23
減損損失	—		<b>0</b>			0
キャッシュ・インカム	273	15.5	<b>312</b>	15.9	114.5	40

### 3. 連結キャッシュ・フロー計算書

	(億円)			備考
	第1四半期		増減額	
	2008年 3月期	2009年 3月期		
税金等調整前四半期純利益	306	<b>252</b>	△54	
減価償却費	73	<b>123</b>	50	
売上債権・仕入債務及びたな卸資産の増減額	△21	<b>△189</b>	△168	■売上債権・仕入債務及び たな卸資産の増減額 <減少要因> ・売上債権の増加
未払金・未払費用等の増減額	△35	<b>65</b>	100	
その他	△74	<b>90</b>	165	
(小計)	248	<b>341</b>	93	■その他 <増加要因> ・売上割戻引当金の増加
利息等の受取及び支払額	19	<b>△1</b>	△20	
法人税等の支払額	△189	<b>△155</b>	35	
営業活動によるキャッシュ・フロー	78	<b>186</b>	107	
資本的支出等(買収などを含む)	△540	<b>△123</b>	417	■資本的支出等(買収などを含む) <支出減少要因> ・前年の企業買収による影響
有価証券・投資有価証券の取得・売却等	95	<b>33</b>	△61	
その他	△15	<b>12</b>	27	
投資活動によるキャッシュ・フロー	△460	<b>△77</b>	382	
短期借入金の純増減額	△1	<b>△1,938</b>	△1,937	■短期借入金の純増減額 ■長期借入れによる収入 ■社債の発行による収入 <増減要因> ・買収資金 (短期から長期へシフト)
長期借入れによる収入	-	<b>732</b>	732	
社債の発行による収入	-	<b>1,196</b>	1,196	
配当金の支払額	△185	<b>△185</b>	△1	
その他	△1	<b>△5</b>	△4	
財務活動によるキャッシュ・フロー	△187	<b>△200</b>	△13	
現金及び現金同等物に係る換算差額	54	<b>22</b>	△32	
現金及び現金同等物の増減額	△515	<b>△70</b>	445	
現金及び現金同等物の期首残高	1,711	<b>1,200</b>	△511	
現金及び現金同等物の期末残高	1,196	<b>1,130</b>	△67	
フリー・キャッシュ・フロー	△461	<b>63</b>	524	

\*フリー・キャッシュ・フロー=(営業活動によるキャッシュ・フロー)-(資本的支出等(買収などを含む))

## 4. セグメント情報

### 1) 事業の種類別/所在地別売上高

	第1四半期		(億円)
			通期
	2008年 3月期	2009年 3月期	2008年 3月期
売上高	1,760	<b>1,958</b>	7,343
医薬品分野	1,709	<b>1,906</b>	7,118
日本	735	<b>798</b>	2,927
北米	765	<b>893</b>	3,382
欧州	140	<b>136</b>	532
中国	23	<b>28</b>	95
アジア他	46	<b>51</b>	183
その他の分野	52	<b>52</b>	224
日本	48	<b>47</b>	200
海外	4	<b>5</b>	24

\*外部顧客に対する売上高であります。

\*日本および中国以外の地域区分は、次のとおりであります。

①北米：米国、カナダ

②欧州：英国、フランス、ドイツ等

③アジア他：中国を除くアジア諸国および中南米諸国等

### 2) 事業の種類別営業利益

	第1四半期		(億円)
			通期
	2008年 3月期	2009年 3月期	2008年 3月期
営業利益	262	<b>241</b>	177
医薬品分野	269	<b>249</b>	198
その他の分野	3	<b>2</b>	19
消去又は全社	△10	<b>△11</b>	△40

\*前期のMGI PHARMA, INC.買収に伴う企業結合会計特有の処理（非キャッシュ項目）を除いて算出した「実業ベース」での医薬品分野の2009年3月期第1四半期の営業利益は330億円であります。

### 3) 所在地別セグメント情報

#### (1) 所在地別売上高

	第1四半期		通期
	2008年 3月期	2009年 3月期	2008年 3月期
	(億円)		
売上高	1,760	<b>1,958</b>	7,343
日本	783	<b>845</b>	3,127
北米	768	<b>895</b>	3,394
欧州	141	<b>139</b>	544
中国	23	<b>28</b>	95
アジア他	46	<b>51</b>	183
海外計	978	<b>1,113</b>	4,216
海外比率 (%)	55.5	<b>56.9</b>	57.4

\*外部顧客に対する売上高であります。

#### (2) 所在地別営業利益

	第1四半期		通期
	2008年 3月期	2009年 3月期	2008年 3月期
	(億円)		
営業利益	262	<b>241</b>	177
日本	230	<b>222</b>	805
北米	41	<b>2</b>	△669
欧州	6	<b>9</b>	18
中国	5	<b>6</b>	20
アジア他	11	<b>13</b>	37
消去又は全社	△32	<b>△12</b>	△33

\*前期のMGI PHARMA, INC.買収に伴う企業結合会計特有の処理（非キャッシュ項目）を除いて算出した「実業ベース」での北米の2009年3月期第1四半期の営業利益は83億円であります。

#### 4) 海外売上高

	第1四半期		通期
	2008年 3月期	2009年 3月期	2008年 3月期
	(億円)		
売上高	1,760	<b>1,958</b>	7,343
海外売上高	1,057	<b>1,184</b>	4,546
北米	792	<b>914</b>	3,504
欧州	187	<b>182</b>	731
中国	23	<b>28</b>	95
アジア他	56	<b>61</b>	215
海外売上高比率 (%)	60.1	<b>60.5</b>	61.9

\*日本および中国以外の地域区分は、次のとおりであります。

- ①北米：米国、カナダ
- ②欧州：英国、フランス、ドイツ等
- ③アジア他：中国を除くアジア諸国および中南米諸国等



## 5) 連結主力製品売上高 (自社)

### (1) アリセプト (アルツハイマー型認知症治療剤)

		第1四半期		通期
		2008年 3月期	2009年 3月期	2008年 3月期
日本	億円	149	<b>194</b>	623
米国	億円 (百万US\$)	415 (343)	<b>434</b> <b>(415)</b>	1,869 (1,635)
欧州	億円	92	<b>80</b>	333
英国	億円 (百万£)	3 (1)	<b>7</b> <b>(4)</b>	14 (6)
フランス	億円 (百万€)	70 (43)	<b>51</b> <b>(31)</b>	243 (151)
ドイツ	億円 (百万€)	19 (12)	<b>21</b> <b>(13)</b>	76 (47)
中国	億円 (百万元)	0 (3)	<b>1</b> <b>(9)</b>	12 (75)
アジア (日本・中国除く)	億円	17	<b>20</b>	74
総計	億円	673	<b>729</b>	2,910

### (2) パリエット/アシフェックス (プロトンポンプ阻害型抗潰瘍剤)

		第1四半期		通期
		2008年 3月期	2009年 3月期	2008年 3月期
日本	億円	89	<b>110</b>	371
米国	億円 (百万US\$)	318 (263)	<b>259</b> <b>(248)</b>	1,247 (1,091)
欧州	億円	25	<b>25</b>	86
英国	億円 (百万£)	8 (3)	<b>6</b> <b>(3)</b>	22 (9)
ドイツ	億円 (百万€)	5 (3)	<b>6</b> <b>(4)</b>	18 (11)
イタリア	億円 (百万€)	12 (7)	<b>12</b> <b>(7)</b>	45 (28)
中国	億円 (百万元)	2 (14)	<b>1</b> <b>(9)</b>	7 (43)
アジア (日本・中国除く)	億円	14	<b>13</b>	48
総計	億円	449	<b>408</b>	1,759

\*中国 (元) 為替レートは次のとおりであります。

2007年4月～6月	期中平均レート	15.73円/元
2008年4月～6月	期中平均レート	15.02円/元
2007年4月～2008年3月	期中平均レート	15.30円/元

(3) メチコバル (末梢性神経障害治療剤)

		第1四半期		通期
		2008年 3月期	2009年 3月期	2008年 3月期
日本	億円	82	<b>83</b>	317
アジア (中国含む)	億円	18	<b>24</b>	71
総計	億円	101	<b>107</b>	387

(4) Aloxi (制吐剤)

		第1四半期		通期
		2008年 3月期	2009年 3月期	2008年 3月期
米国	億円 (百万US\$)	— (—)	<b>95</b> <b>(90)</b>	65 (62)

(5) Dacogen (DNAメチル化阻害剤)

		第1四半期		通期
		2008年 3月期	2009年 3月期	2008年 3月期
米国	億円 (百万US\$)	— (—)	<b>44</b> <b>(42)</b>	27 (26)

(6) ソネグラン (てんかん治療剤)

		第1四半期		通期
		2008年 3月期	2009年 3月期	2008年 3月期
米国	億円 (百万US\$)	7 (6)	<b>5</b> <b>(4)</b>	22 (19)
欧州、アジア	億円	8	<b>11</b>	34
総計	億円	15	<b>15</b>	56

## 6) 人件費、販売費、管理費他

(億円)

	第1四半期		通期
	2008年 3月期	2009年 3月期	2008年 3月期
売上高	1,760	<b>1,958</b>	7,343
販売費・一般管理費	918	<b>967</b>	3,723
人件費	184	<b>208</b>	771
販売費	597	<b>587</b>	2,419
管理費他	138	<b>171</b>	533
売上高比率 (%)	52.2	<b>49.4</b>	50.7

## 7) Eisai Inc. (米国)

		第1四半期		通期
		2008年 3月期	2009年 3月期	2008年 3月期
売上高	億円 (百万US\$)	778 (644)	<b>748</b> <b>(716)</b>	3,327 (2,911)
営業利益	億円 (百万US\$)	36 (29)	<b>40</b> <b>(39)</b>	252 (221)
四半期(当期)純利益	億円 (百万US\$)	26 (22)	<b>26</b> <b>(25)</b>	171 (149)
ロイヤルティ控除前営業利益	億円 (百万US\$)	180 (149)	<b>181</b> <b>(174)</b>	877 (767)

## 5. 連結貸借対照表

### 1) 貸借対照表<資産の部>

(億円)

	2008年 3月末	構成比 %	2008年 6月末	構成比 %	前期末比 %	増減額	備考
流動資産	4,156	37.0	<b>4,334</b>	37.2	104.3	179	
現金及び預金	686		<b>581</b>			△105	
受取手形及び売掛金	1,721		<b>1,935</b>			214	■受取手形及び売掛金 <増加要因> ・販売増
有価証券	563		<b>629</b>			66	
たな卸資産	581		<b>599</b>			18	
繰延税金資産	354		<b>354</b>			△0	
その他	254		<b>240</b>			△14	
貸倒引当金	△3		<b>△3</b>			△0	
固定資産	7,084	63.0	<b>7,319</b>	62.8	103.3	235	
有形固定資産	1,471	13.1	<b>1,550</b>	13.3	105.4	80	
建物及び構築物	708		<b>703</b>			△5	
機械装置及び運搬具	231		<b>225</b>			△6	
土地	208		<b>212</b>			3	
建設仮勘定	198		<b>271</b>			73	
その他	126		<b>140</b>			14	
無形固定資産	4,177	37.1	<b>4,303</b>	36.9	103.0	126	■無形固定資産 <増加要因> ・海外資産の円換算レート の上昇
のれん	1,787		<b>1,855</b>			68	
販売権	1,642		<b>1,673</b>			30	
技術資産	613		<b>643</b>			30	
その他	134		<b>132</b>			△2	
投資その他の資産	1,436	12.8	<b>1,466</b>	12.6	102.1	30	
投資有価証券	895		<b>849</b>			△46	
繰延税金資産	437		<b>513</b>			76	
その他	110		<b>110</b>			△0	
貸倒引当金	△6		<b>△6</b>			0	
資産合計	11,239	100.0	<b>11,653</b>	100.0	103.7	414	

## 2) 貸借対照表<負債及び純資産の部>

(億円)

	2008年 3月末	構成比 %	2008年 6月末	構成比 %	前期末比 %	増減額	備考
流動負債	5,432	48.3	3,671	31.5	67.6	△1,761	
支払手形及び買掛金	183		186			3	
短期借入金	3,628		1,687			△1,941	■短期借入金 <減少要因> ・社債・長期借入金ヘシフト
未払金・未払費用	1,167		1,243			76	
未払法人税等	161		160			△1	
売上割戻引当金	233		311			78	
その他	60		84			24	
固定負債	1,270	11.3	3,244	27.8	255.5	1,974	
社債	8		1,209			1,200	■社債 <増加要因> ・無担保普通社債の発行
長期借入金	500		1,245			745	■長期借入金 <増加要因> ・買収に伴う資金調達
繰延税金負債	402		424			21	
退職給付引当金	241		233			△8	
役員退職慰労引当金	21		23			1	
その他	96		110			14	
負債合計	6,701	59.6	6,915	59.3	103.2	213	
株主資本	4,782	42.5	4,745	40.7	99.2	△38	
資本金	450		450			—	
資本剰余金	570		570			—	
利益剰余金	4,160		4,122			△38	
自己株式	△397		△397			△0	
評価・換算差額等	△294	△2.6	△54	△0.5	—	239	
その他有価証券評価差額金	95		99			4	
為替換算調整勘定	△389		△154			235	■為替換算調整勘定 <増加要因> ・海外子会社のB/S換算 レートの変動 (US\$ : 100.19円→106.42円)
新株予約権	6	0.1	6	0.0	100.0	—	
少数株主持分	44	0.4	43	0.4	98.2	△1	
純資産合計	4,538	40.4	4,739	40.7	104.4	201	
負債純資産合計	11,239	100.0	11,653	100.0	103.7	414	

## 6. 連結四半期業績の推移

### 1) 損益計算書項目

	2008年3月期				2009年3月期
	第1	第2	第3	第4	第1
	四半期	四半期	四半期	四半期	四半期
売上高	1,760	1,868	1,967	1,747	1,958
売上原価	275	271	289	353	394
研究開発費	305	333	357	1,259	357
販売費・一般管理費	918	955	966	884	967
営業利益(△損失)	262	309	355	△748	241
営業外収支	22	3	12	△26	△2
経常利益(△損失)	284	312	367	△774	239
特別損益	22	△10	△4	△20	13
税金等調整前四半期純利益(△損失)	306	302	363	△794	252
四半期純利益(△損失)	193	200	242	△805	166
キャッシュ・インカム	273	281	321	181	312
1株当たり四半期(当期)純利益(△損失)(EPS/円)	68.1	70.4	84.9	△283.2	58.4
1株当たりキャッシュ・インカム(キャッシュEPS/円)	96.0	98.8	112.7	63.4	109.6

\*売上原価には返品調整引当金繰入(戻入)額を含めて表示しております。

### 2) キャッシュ・フロー計算書項目

	2008年3月期				2009年3月期
	第1	第2	第3	第4	第1
	四半期	四半期	四半期	四半期	四半期
営業活動によるキャッシュ・フロー	78	339	101	214	186
投資活動によるキャッシュ・フロー	△460	△67	△92	△4,146	△77
財務活動によるキャッシュ・フロー	△187	△1	13	3,928	△200
現金及び現金同等物の期末残高	1,196	1,410	1,417	1,200	1,130
フリー・キャッシュ・フロー	△461	248	△17	△3,928	63

\*フリー・キャッシュ・フロー＝(営業活動によるキャッシュ・フロー)－(資本的支出等(買収などを含む))

### 3) 貸借対照表項目

#### <資産の部>

	2008年3月期				2009年3月期
	6月末	9月末	12月末	3月末	6月末
	流動資産	3,960	4,209	4,309	4,156
固定資産	3,897	3,968	4,024	7,084	<b>7,319</b>
有形固定資産	1,353	1,375	1,414	1,471	<b>1,550</b>
無形固定資産	1,040	1,216	1,204	4,177	<b>4,303</b>
投資その他の資産	1,504	1,377	1,406	1,436	<b>1,466</b>
資産合計	7,857	8,176	8,333	11,239	<b>11,653</b>

#### <負債及び純資産の部>

	2008年3月期				2009年3月期
	6月末	9月末	12月末	3月末	6月末
	負債	2,172	2,425	2,568	6,701
流動負債	1,806	1,918	2,057	5,432	<b>3,671</b>
固定負債	367	508	511	1,270	<b>3,244</b>
純資産	5,685	5,751	5,765	4,538	<b>4,739</b>
株主資本	5,280	5,489	5,587	4,782	<b>4,745</b>
評価・換算差額等	300	154	128	△294	<b>△54</b>
新株予約権	3	6	6	6	<b>6</b>
少数株主持分	102	103	45	44	<b>43</b>
負債純資産合計	7,857	8,176	8,333	11,239	<b>11,653</b>

### 4) 資本的支出及び減価償却費の状況

	2008年3月期				2009年3月期
	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期
	資本的支出額	462	353	111	3,414
有形固定資産	39	97	89	172	<b>75</b>
無形固定資産	423	256	22	3,242	<b>10</b>
減価償却費	73	81	80	112	<b>123</b>

\*資本的支出額にはモルフォテック社ならびにMGI PHARMA, INC.買収による資産の増加を含めて表示しております。

\*減価償却費には無形固定資産に対する償却費を含めて表示しております。

## 5) アリセプト売上高 (自社)

		2008年3月期				2009年3月期
		第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期
日本	億円	149	151	189	133	<b>194</b>
米国	億円 (百万US\$)	415 (343)	480 (407)	480 (423)	494 (463)	<b>434 (415)</b>
欧州	億円	92	81	90	69	<b>80</b>
英国	億円 (百万£)	3 (1)	3 (1)	4 (2)	3 (2)	<b>7 (4)</b>
フランス	億円 (百万€)	70 (43)	59 (36)	66 (40)	48 (31)	<b>51 (31)</b>
ドイツ	億円 (百万€)	19 (12)	19 (12)	20 (12)	18 (11)	<b>21 (13)</b>
中国	億円 (百万元)	0 (3)	3 (22)	3 (17)	5 (33)	<b>1 (9)</b>
アジア (日本・中国除く)	億円	17	19	20	18	<b>20</b>
総計	億円	673	735	782	719	<b>729</b>

## 6) パリエット/アシフェックス売上高 (自社)

		2008年3月期				2009年3月期
		第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期
日本	億円	89	93	112	76	<b>110</b>
米国	億円 (百万US\$)	318 (263)	346 (293)	331 (292)	252 (243)	<b>259 (248)</b>
欧州	億円	25	21	19	20	<b>25</b>
英国	億円 (百万£)	8 (3)	7 (3)	4 (2)	4 (2)	<b>6 (3)</b>
ドイツ	億円 (百万€)	5 (3)	3 (2)	4 (2)	5 (3)	<b>6 (4)</b>
イタリア	億円 (百万€)	12 (7)	11 (7)	11 (7)	12 (7)	<b>12 (7)</b>
中国	億円 (百万元)	2 (14)	2 (10)	1 (9)	1 (10)	<b>1 (9)</b>
アジア (日本・中国除く)	億円	14	12	13	10	<b>13</b>
総計	億円	449	473	477	360	<b>408</b>

## 7) メチコバル売上高 (自社)

		2008年3月期				2009年3月期
		第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期
日本	億円	82	80	91	64	<b>83</b>
アジア (中国含む)	億円	18	18	17	17	<b>24</b>
総計	億円	101	98	108	81	<b>107</b>



## 8) Aloxi 売上高 (自社)

		2008年3月期				2009年3月期
		第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期
米国	億円 (百万US\$)	— (—)	— (—)	— (—)	65 (62)	95 (90)

## 9) Dacogen 売上高 (自社)

		2008年3月期				2009年3月期
		第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期
米国	億円 (百万US\$)	— (—)	— (—)	— (—)	27 (26)	44 (42)

## 10) ソネグラン売上高 (自社)

		2008年3月期				2009年3月期
		第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期
米国	億円 (百万US\$)	7 (6)	7 (6)	4 (4)	4 (4)	5 (4)
欧州、アジア	億円	8	8	10	8	11
総計	億円	15	16	14	12	15

## 11) Eisai Inc. (米国)

		2008年3月期				2009年3月期
		第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期
売上高	億円 (百万US\$)	778 (644)	883 (748)	867 (764)	799 (756)	748 (716)
営業利益	億円 (百万US\$)	36 (29)	71 (60)	74 (65)	71 (66)	40 (39)
四半期純利益	億円 (百万US\$)	26 (22)	49 (41)	50 (44)	46 (43)	26 (25)
ロイヤルティ控除前営業利益	億円 (百万US\$)	180 (149)	235 (199)	236 (207)	226 (212)	181 (174)

## 7. 個別情報

### 1) 個別財務ハイライト

#### (1) 損益計算書項目

(億円)

	第1四半期			通期	
	2008年 3月期	2009年 3月期	前年同期比 %	2008年 3月期	2009年 3月期(予)
売上高	981	<b>1,031</b>	105.1	3,892	3,980
売上原価	210	<b>213</b>	101.4	760	740
研究開発費	302	<b>330</b>	109.4	1,340	1,405
販売費・一般管理費	261	<b>286</b>	109.5	1,061	1,170
営業利益	208	<b>202</b>	97.0	731	665
経常利益	219	<b>202</b>	92.5	710	595
四半期(当期)純利益	157	<b>169</b>	107.7	460	400

\*売上原価には返品調整引当金繰入(戻入)額を含めて表示しております。

#### (2) キャッシュ・フロー計算書項目

(億円)

	第1四半期			通期
	2008年 3月期	2009年 3月期	増減額	2008年 3月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	55	<b>122</b>	67	367
投資活動によるキャッシュ・フロー	△117	<b>705</b>	822	△4,313
財務活動によるキャッシュ・フロー	△185	<b>△932</b>	△747	3,758
現金及び現金同等物の期末残高	218	<b>172</b>	△46	277
フリー・キャッシュ・フロー	△43	<b>65</b>	108	96

\*フリー・キャッシュ・フロー＝(営業活動によるキャッシュ・フロー)－(資本的支出等(買収などを含む))

#### (3) 貸借対照表項目

(億円)

	2008年		
	3月末	6月末	増減額
総資産	9,773	<b>9,091</b>	△682
負債	5,059	<b>4,392</b>	△667
純資産	4,714	<b>4,698</b>	△15
自己資本	4,708	<b>4,693</b>	△15
自己資本比率(%)	48.2	<b>51.6</b>	3.4

#### (4) 資本的支出及び減価償却費の状況

(億円)

	第1四半期			通期
	2008年 3月期	2009年 3月期	増減額	2008年 3月期
資本的支出額	54	<b>31</b>	△23	249
有形固定資産	11	<b>22</b>	11	152
無形固定資産	43	<b>9</b>	△34	97
減価償却費	42	<b>44</b>	2	178

\*減価償却費には無形固定資産に対する償却費を含めて表示しております。

## 2) 売上高の状況

	第1四半期			(億円)
				通期
	2008年 3月期	2009年 3月期	前年同期比 %	2008年 3月期
売上高	981	<b>1,031</b>	105.1	3,892
医療用医薬品	593	<b>663</b>	111.8	2,318
医薬品輸出	165	<b>153</b>	92.7	607
一般用医薬品等	44	<b>44</b>	100.0	201
その他の分野（食品添加物、化学品）	3	<b>4</b>	114.5	14
工業所有権等収益	176	<b>167</b>	95.1	753

## 3) 地域別輸出状況

	第1四半期			(億円)
				通期
	2008年 3月期	2009年 3月期	前年同期比 %	2008年 3月期
売上高	981	<b>1,031</b>	105.1	3,892
輸出高	340	<b>319</b>	93.9	1,356
北米	241	<b>222</b>	91.8	980
欧州	79	<b>73</b>	92.6	297
アジア他（中国含む）	19	<b>24</b>	123.9	79
売上高比率（%）	34.7	<b>31.0</b>	—	34.8

\*地域区分は次のとおりであります。

- ①北米：米国、カナダ
- ②欧州：英国、フランス、ドイツ等
- ③アジア他：アジア諸国および中南米諸国等

\*輸出高には工業所有権等収益を含めて表示しております。

#### 4) 医療用医薬品主力製品売上高

	第1四半期			(億円)
				通期
	2008年 3月期	2009年 3月期	前年同期比 %	2008年 3月期
アルツハイマー型認知症治療剤	149	<b>194</b>	130.3	623
アリセプト				
プロトンポンプ阻害型抗潰瘍剤	89	<b>110</b>	123.4	371
パリエット				
末梢性神経障害治療剤	82	<b>83</b>	100.3	317
メチコパール				
胃炎・胃潰瘍治療剤	50	<b>44</b>	88.7	182
セルベックス				
骨粗鬆症治療剤	29	<b>21</b>	73.0	82
アクトネル				
筋緊張改善剤	21	<b>21</b>	98.4	80
ミオナール				
非イオン性造影剤	21	<b>19</b>	93.6	79
イオメロン				
骨粗鬆症治療用ビタミンK <sub>2</sub> 剤	18	<b>15</b>	83.3	64
グラケー				
消化管検査前処置・低血糖治療剤	10	<b>10</b>	94.0	39
グルカゴンG・ノボ				
虚血性心疾患治療剤	9	<b>9</b>	92.5	34
ニトロールR				
その他	113	<b>137</b>	120.5	447
医療用医薬品計	593	<b>663</b>	111.8	2,318

#### 5) 医薬品輸出高

	第1四半期			(億円)
				通期
	2008年 3月期	2009年 3月期	前年同期比 %	2008年 3月期
アリセプト	76	<b>74</b>	97.6	281
パリエット/アシフェックス	66	<b>57</b>	86.6	251
その他	23	<b>22</b>	94.0	75
医薬品輸出計	165	<b>153</b>	92.7	607

#### 6) 一般用医薬品等主力製品グループ売上高

	第1四半期			(億円)
				通期
	2008年 3月期	2009年 3月期	前年同期比 %	2008年 3月期
ビタミンB <sub>2</sub> 主剤「チョコラBBプラス」等	23	<b>24</b>	102.2	95
チョコラBBグループ				
メコバラミン主剤「ナボリンEB錠」等	5	<b>6</b>	120.3	23
ナボリングループ				
天然ビタミンE剤「ユベラックスα2」等	4	<b>4</b>	100.2	17
ビタミンEグループ				
緑の胃ぐすり「サクロン」等	3	<b>3</b>	94.2	16
サクロングループ				
その他	9	<b>8</b>	85.3	51
一般用医薬品等計	44	<b>44</b>	100.0	201

## 7) 貸借対照表項目

### <資産の部>

	2008年		
	3月末	6月末	増減額
流動資産	3,061	<b>2,304</b>	△757
固定資産	6,711	<b>6,787</b>	75
有形固定資産	834	<b>844</b>	10
無形固定資産	335	<b>330</b>	△5
投資その他の資産	5,543	<b>5,613</b>	70
資産合計	9,773	<b>9,091</b>	△682

### <負債及び純資産の部>

	2008年		
	3月末	6月末	増減額
負債合計	5,059	<b>4,392</b>	△667
流動負債	4,343	<b>2,473</b>	△1,870
固定負債	716	<b>1,919</b>	1,203
純資産	4,714	<b>4,698</b>	△15
株主資本	4,612	<b>4,596</b>	△16
評価・換算差額等	96	<b>97</b>	1
新株予約権	6	<b>6</b>	—
負債純資産合計	9,773	<b>9,091</b>	△682

## 8. 主要開発品

### 1) 開発ステージ別一覧

#### (1) 承認取得品

製品名、 開発品コード	薬効/作用	地域	承認時期	剤形
◎ ヒュミラ (D2E7)	関節リウマチ治療剤/ヒト型抗ヒトTNF $\alpha$ モノクローナル抗体	日本	2008年4月	注射
◎ イオメロン (E7337)	【用法・用量、剤形追加】肝臓領域のダイナミックコンピューター断層撮影における造影に関する用法・用量、剤形の追加	日本	2008年5月	注射
◎ アシフェックス (E3810)	【適応追加】青年期胃食道逆流症における短期治療の効能・効果追加	米国	2008年6月	経口

#### (2) 申請中・申請準備中開発品

製品名、 開発品コード	薬効/作用	地域	申請(予定)時期	剤形
アリセプト (E2020)	【適応追加】脳血管性認知症の効能・効果追加	米国 (欧州)	2002年11月 申請準備中)	経口
T-614	関節リウマチ治療剤 (一般名：イグラチモド)	日本	2003年9月	経口
アリセプト (E2020)	【剤形追加】液剤の剤形追加	欧州	2004年5月	経口
ルフィナマイド (E2080)	てんかん治療剤 (一般名：ルフィナマイド)	米国	2006年1月	経口
E2014	癌性斜頸治療剤 (一般名：B型ボツリヌス毒素)	日本	2006年12月	注射
ガスマチン	消化管運動機能改善剤 (一般名：モサプリド)	アジア	2007年5月	経口
クレブジン	慢性B型肝炎治療剤 (一般名：クレブジン)	アジア	2007年5月	経口
ヒュミラ (D2E7)	【適応追加】乾癬の効能・効果追加	日本	2007年9月	注射
KES524	肥満症治療剤/脳内セロトニンとノルアドレナリンの再取り込み阻害 (一般名：シブトラミン)	日本	2007年11月	経口
fospropofol (E2083)	鎮静剤/大腸内視鏡検査、気管支内視鏡検査など簡便な診断・治療の際の鎮静 (一般名：fospropofol)	米国	2007年12月	注射
Aloxi (E3270)	【剤形追加】経口剤の剤形追加(がん化学療法における悪心・嘔吐)	米国	2008年1月	経口
アリセプト (E2020)	【剤形追加】ゼリー製剤の剤形追加	日本	2008年3月	経口
グルファスト	速効型インスリン分泌促進剤 (一般名：ミチグリニド)	アジア	2008年3月	経口
◎ Dacogen (E7373)	【用法・用量追加】骨髄異形成症候群(MDS)5日間投与の用法・用量追加	米国	2008年度 申請予定	注射
パリエット (E3810)	【適応追加】非びらん性胃食道逆流症の効能・効果追加	日本	(2008年度 再申請予定)	経口

◎：2008年4月以降の進捗

(3) 臨床試験中開発品 (フェーズⅢ～Ⅱ/Ⅲ)

製品名、 開発品コード	薬効/作用または分類	地域	開発段階	申請予定時期	剤形
E5564	敗血症治療剤/エンドトキシン拮抗剤 (一般名: エリトラン)	米国 欧州 日本	Ⅲ Ⅲ Ⅲ	2009年度	注射
E7389	抗がん剤(乳がん)/微小管伸長阻害剤 (一般名: エリプリン)	米国 欧州 日本	Ⅲ Ⅲ Ⅱ	2009年度	注射
AS-3201	糖尿病合併症治療剤/アルドース還元酵素阻害剤 (一般名: ラニレスタット)	米国	Ⅲ	2012年度	経口
アリセプト (E2020)	【剤形追加】徐放製剤の用法・用量、剤形追加	米国 欧州	Ⅲ Ⅲ	2009年度	経口
アシフェックス (E3810)	【剤形追加】長時間作用型製剤の剤形追加	米国	Ⅲ	2009年度	経口
Saforis (E6014)	口腔粘膜炎治療剤/グルタミン懸濁液	米国	Ⅲ		外用
ソネグラン (E2090)	【適応追加】てんかん単剤療法の効能・効果追加	欧州	Ⅲ	2010年度	経口
ソネグラン (E2090)	【適応追加】てんかん小児適応の効能・効果追加	欧州	Ⅲ	2009年度	経口
◎ ソネグラン (E2090)	【適応追加】全般性てんかん併用療法の効能・効果追加	欧州	Ⅲ	2010年度	経口
Dacogen (E7373)	【適応追加】骨髄異形成症候群(MDS) 延命効果の効能・効果追加	米国	Ⅲ		注射
Dacogen (E7373)	【適応追加】急性骨髄性白血病(AML)の効能・効果追加	米国	Ⅲ	2010年度	注射
ヒュミラ (D2E7)	【適応追加】若年性関節リウマチの効能・効果追加	日本	Ⅲ	2011年度	注射
ヒュミラ (D2E7)	【適応追加】強直性脊椎炎の効能・効果追加	日本	Ⅲ		注射
◎ E2007	てんかん治療剤/AMPA受容体拮抗剤 (一般名: ペランパネル)	米国 欧州	Ⅲ Ⅲ	2012年度	経口
◎ アリセプト (E2020)	小児有用性(がん化学療法に伴う認知機能障害)	米国	Ⅲ	2009年度	経口
◎ SEP-190	不眠症治療剤/GABA-A受容体作動剤 (一般名: エスゾピクロン)	日本	Ⅲ	2010年度	経口
クレブジン	慢性B型肝炎治療剤 (一般名: クレブジン)	中国	Ⅲ準備中		経口
E0302	筋萎縮性側索硬化症(ALS) (一般名: メコバラミン)	日本	Ⅱ/Ⅲ		注射
ヒュミラ (D2E7)	【適応追加】クローン病の効能・効果追加	日本	Ⅱ/Ⅲ	2009年度	注射
Amolimogene (E7101)	子宮頸部異形成治療剤/治療用DNAワクチン	米国	Ⅱ/Ⅲ	2011年度	注射
◎ パリエット (E3810)	【用法・用量追加】逆流性食道炎の用法・用量追加	日本	Ⅱ/Ⅲ		経口

◎: 2008年4月以降の進捗

(4) 臨床試験中開発品 (フェーズII)

製品名、 開発品コード	薬効/作用または分類	地域	開発段階	申請予定時期	剤形
E2007	神経因性疼痛治療剤/AMPA受容体拮抗剤 (一般名:ペランパネル)	米国 欧州	II II		経口
E2007	多発性硬化症治療剤/AMPA受容体拮抗剤 (一般名:ペランパネル)	欧州	II		経口
E2007	片頭痛予防/AMPA受容体拮抗剤 (一般名:ペランパネル)	米国	II		経口
E5555	急性冠症候群治療剤/トロンピン受容体拮抗剤	米国 欧州 日本	II II II	2012年度	経口
E5555	アテローム血栓症治療剤/トロンピン受容体拮抗剤	米国 欧州 日本	II II II		経口
E6201	乾癬治療剤/新規MEK-1/MEKK-1キナーゼ阻害剤	米国	II		外用
E7389	抗がん剤(非小細胞肺癌)/微小管伸長阻害剤 (一般名:エリプリン)	米国	II		注射
E7389	抗がん剤(前立腺がん)/微小管伸長阻害剤 (一般名:エリプリン)	米国 欧州	II II		注射
E7389	抗がん剤(肉腫)/微小管伸長阻害剤 (一般名:エリプリン)	欧州	II		注射
E7820	抗がん剤(大腸がん)/ $\alpha$ 2インテグリン発現抑制剤	米国	II		経口
AKR-501	血小板減少症治療剤/トロンボポエチン受容体作動剤	米国	II		経口
MORAb-003	抗がん剤(卵巣がん)/モノクローナル抗体 (一般名:farletuzumab)	米国	II		注射
MORAb-009	抗がん剤(膵臓がん)/モノクローナル抗体	米国	II		注射
アリセプト (E2020)	小児有用性(ダウン症候群)	米国	II		経口
アリセプト (E2020)	【適応追加】レビー小体型認知症の効能・効果追加	日本	II		経口
Irofulven (E7850)	抗がん剤(前立腺がん等)/DNA合成阻害剤	米国	II		経口
E7210 (一時開発中断中)	超音波造影剤	日本	II		注射

◎:2008年4月以降の進捗

\*E5555の日米欧におけるアテローム血栓症の前回資料に申請予定時期の誤植があり、申請予定時期を削除いたしました。



## 2) 領域別一覽

### (1) 神経

製品名、 開発品コード	概要	開発状況	オリジン
アリセプト (E2020)	アセチルコリンエステラーゼ阻害作用に基づき、すでにアルツハイマー型認知症治療剤として承認を取得しています。	【適応追加】 脳血管性認知症 米：申請中 小児有用性 米：フェーズⅢ(がん化学療法、フェーズⅡ(ダウン症候群) レビー小体 日：フェーズⅡ 【剤形追加】 液剤 欧：申請中 ゼリー剤 日：申請中 徐放製剤 欧米：フェーズⅢ	自社
E2007	一般名はペランパネルで、グルタミン酸受容体のサブタイプであるAMPA受容体に選択的に拮抗し、各種神経疾患への可能性を有しています。	てんかん 欧米：フェーズⅢ 神経因性疼痛 欧米：フェーズⅡ 片頭痛予防 米：フェーズⅡ 多発性硬化症 欧：フェーズⅡ	自社
AS-3201	一般名はラニレスタットで、強力なアルドース還元酵素阻害作用に基づき、糖尿病合併症治療剤を目指しています。	糖尿病性神経障害 米：フェーズⅢ	大日本住友製薬
ルフィナマイド (E2080)	欧州ではレノックス・ガスター症候群の併用療法として承認を取得しています。 (米国でのブランド名は検討中)	レノックス・ガスター症候群および成人の部分でてんかんの併用療法 米：申請中	ノバルティス
ソネグラン (E2090)	一般名はソニサミドで、幅広い抗てんかんスペクトラムを有し、忍容性の高い抗てんかん薬です。すでに成人部分でてんかんを対象に併用療法の適応を取得しております。	【適応追加】 単剤療法 欧：フェーズⅢ 小児適応 欧：フェーズⅢ 全般性 欧：フェーズⅢ	大日本住友製薬
E0302	日本で末梢性神経障害治療剤として広く使われているメコバラミンについて、新たに筋萎縮性側索硬化症を対象としたフェーズⅡ/Ⅲが進行中です。	筋萎縮性側索硬化症 日：フェーズⅡ/Ⅲ	自社
E2014	ボツリヌス毒素が神経筋接合部でコリン作動性神経終末に作用し、アセチルコリンの遊離を阻害することで筋を弛緩させます。	痙性斜頸 日：申請中	ソルステイス・ ニューロ サイエンス
SEP-190	非ベンゾジアゼピン系に属するGABA-A受容体作動剤で、一過性不眠、短期不眠や高齢者の不眠に効果を期待しております。	不眠症 日：フェーズⅢ	セブラコール

### (2) がん、支持療法

製品名、 開発品コード	概要	開発状況	オリジン
E7389	一般名はエリブリンで、カイメン由来のハリコンドリンB抗腫瘍活性本体の誘導体です。微小管の伸長を阻害し細胞分裂を抑制することにより抗腫瘍活性を示します。乳がんでのPOCに成功しました。	乳がん 欧米：フェーズⅢ 日：フェーズⅡ 非小細胞肺癌 米：フェーズⅡ 前立腺がん 欧米：フェーズⅡ 肉腫 欧：フェーズⅡ	自社
E7820	α2インテグリン発現抑制を有する血管新生阻害剤です。	大腸がん 米：フェーズⅡ	自社
MORAb-003	一般名はfarletuzumabで葉酸受容体αに対するヒト化IgG1抗体です。	卵巣がん 米：フェーズⅡ	自社 (モルフォテック)
MORAb-009	メソセリンに対するIgG1抗体です。	膵臓がん 米：フェーズⅡ	自社 (モルフォテック)
Dacogen (E7373)	一般名はデシタピンで、DNAメチル化阻害による細胞分化誘導作用を有し、すでに米国で骨髄異形成症候群(MDS)で適応を取得しております。	【適応追加】 急性骨髄性白血病(AML) 米：フェーズⅢ MDSの延命効果 米：フェーズⅢ 【用法・用量】 MDS5日間投与 米：申請準備中	自社 (MGI)
Irofulven (E7850)	DNA合成阻害により各種固形がんの効果期待しています。	前立腺がん 米：フェーズⅡ	自社 (MGI)
Aloxi (E3270)	セロトニン(5-HT <sub>3</sub> )受容体拮抗に基づき、すでに米国で、がん化学療法および術後の悪心・嘔吐で承認を取得しております。	【剤形追加】経口剤(がん化学療法における悪心・嘔吐) 米：申請中	自社 (MGI)
AKR-501	経口で効果が期待されるトロンボポエチン受容体のアゴニストです。	特発性血小板減少性紫斑病 米：フェーズⅡ	自社 (MGI)
Amolimogene (E7101)	ヒトパピローマウィルス(HPV)に対する治療用DNAワクチンです。	子宮頸部異形成 米：フェーズⅡ/Ⅲ	自社 (MGI)
fospropofol (E2083)	一般名はfospropofolで、プロポフォールの水溶性プロドラッグです。	大腸内視鏡検査、気管支内視鏡検査など簡便な診断・治療の際の鎮静 米：申請中	自社 (MGI)
Saforis (E6014)	グルタミン懸濁製剤です。化学療法に伴う口腔粘膜炎に対して保護作用を示します。	口腔粘膜炎 米：フェーズⅢ	自社 (MGI)

### (3) 血管・免疫反応

製品名、 開発品コード	概要	開発状況	オリジン
ヒュミラ (D2E7)	一般名はアダリムマブで、ヒト型抗ヒトTNF $\alpha$ モノクローナル抗体です。日本で関節リウマチの承認を取得しました。	関節リウマチ 日：承認 【適応追加】 乾癬 日：申請中 若年性関節リウマチ 日：フェーズⅢ 強直性脊椎炎 日：フェーズⅢ クローン病 日：フェーズⅡ/Ⅲ	アボット
E5564	一般名はエリトランで、エンドトキシン拮抗作用を示し、種々のグラム陰性菌由来のエンドトキシンに起因する重症敗血症で、目標としていた有効性および安全性が確認されました。	重症敗血症 国際共同治験：フェーズⅢ	自社
E5555	トロンピン受容体拮抗作用に基づき血小板凝集抑制作用と平滑筋増殖抑制作用を示します。	急性冠症候群 日米欧：フェーズⅡ アテローム血栓症 日米欧：フェーズⅡ	自社
E6201	新規MEK-1/MEKK-1キナーゼ阻害剤です。	乾癬 米：フェーズⅡ	自社
T-614	炎症性のサイトカインの産生、リンパ球増殖および免疫グロブリン産生を抑制します。	関節リウマチ 日：申請中	富山化学工業

### (4) 消化器

製品名、 開発品コード	概要	開発状況	オリジン
パリエット/ アシフェックス (E3810)	プロトンポンプ阻害作用に基づき、十二指腸潰瘍、逆流性食道炎、ヘリコバクター・ピロリ除菌などの承認を取得しています。さらに米国で青年期胃食道逆流症における短期治療の効能・効果を追加取得しました。	【適応追加】 青年期胃食道逆流症 米：承認 非びらん性胃食道逆流症 日：再申請準備中 【用法・用量追加】 逆流性食道炎 日：フェーズⅡ/Ⅲ 【剤形追加】 長時間作用型製剤 米：フェーズⅢ	自社
ガスマチン	一般名はモサプリドで、選択的なセロトニン(5-HT <sub>4</sub> )受容体アゴニストであり、アセチルコリン遊離の増大を介して消化管運動促進作用および胃排出促進作用を示します。	機能的胃腸症 タイ、マレーシア、インドネシア、フィリピン：申請中 アセアン諸国等6カ国：申請準備中	大日本住友製薬

### (5) 他疾患

製品名、 開発品コード	概要	開発状況	オリジン
イオメロン (E7337)	非イオン性造影剤として、コンピュータ断層撮影における造影等の効能・効果を日本で承認を取得しており、肝臓領域のダイナミックコンピュータ断層撮影における造影に関する用法・用量、剤形を追加しました。	【用法・用量、剤形追加】 肝臓領域ダイナミック コンピュータ断層撮影 日：承認	ブラッコ
KES524	一般名はシブトラミンで、脳内の神経伝達物質であるセロトニンとノルアドレナリンの再取り込み阻害に基づく中枢作用による満腹感の亢進と体内のエネルギー消費の亢進により、体重の減少効果を期待しています。	肥満症 日：申請中	アボット
クレブジン	DNAポリメラーゼ阻害による抗ウイルス作用に基づく慢性B型肝炎治療剤です。	慢性B型肝炎 マレーシア、タイ、インドネシア、フィリピン、インド：申請中、アセアン等3カ国：申請準備中、中国：フェーズⅢ準備中	ブゲン
グルファスト	一般名はミチグリニドで、膵臓の $\beta$ 細胞スルフォニルウレア受容体と選択的に結合し、膵臓からのインスリン分泌を促進することによって血糖の低下作用を発揮します。	糖尿病 マレーシア、タイ：申請中 アセアン8カ国：申請準備中	キッセイ薬品
E7210	微小気泡(マイクロバブル)が超音波を反射することを利用した造影剤です。	日：開発一時中断	ブラッコ

## 9. 主なイベント

年月	概要
2008年4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>次世代アルツハイマー病治療剤「E2012」、FDA（米国食品医薬品局）より臨床試験を再開してさしつかえない旨の通知を受領（4月3日リリース）</li> <li>AMPA受容体拮抗剤「E2007」の開発状況について（4月11日リリース）</li> <li>ヒト型抗ヒトTNF<math>\alpha</math>モノクローナル抗体「ヒュミラ」、日本で関節リウマチの効能・効果で製造販売承認を取得（4月16日リリース）</li> <li>欧州委員会が抗がん剤「MORAb-003」および抗がん剤「MORAb-009」をオーファンドラッグに指定（4月16日リリース）</li> <li>三光純薬株式会社、ロシュ・ダイアグノスティクス株式会社、日本光電工業株式会社と、ワーファリン投与患者様向けPT-INR簡易・迅速測定装置「コアグチェックXS」シリーズの販売に関する契約に合意（4月17日リリース）</li> <li>米国MGI PHARMA, INC.の買収による完全子会社化に伴う平成20年3月期業績予想の修正に関するお知らせ（4月21日リリース）</li> <li>「つらい疲れ」に、医薬部外品ドリンク剤「チョコラBBローヤル2」を日本で新発売（5月12日発売）（4月24日リリース）</li> </ul>
2008年5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>英国国立医療技術評価機構（NICE）の認知症治療薬使用を制限するガイダンスの策定プロセスに関する控訴審において勝訴（5月1日リリース）</li> <li>中国に製薬用機械販売支援・メンテナンス会社を設立（5月7日リリース）</li> <li>FDA（米国食品医薬品局）の諮問委員会が鎮静剤「fospropofol disodium」の承認推奨を採択（5月8日リリース）</li> <li>英国控訴院が英国国立医療技術評価機構（NICE）の認知症治療薬使用を制限するガイダンスの策定プロセスに関する決定を下す（5月9日リリース）</li> <li>ライオン株式会社と医療用医薬品の「バファリン」について日本における独占の販売権許諾に関する契約を締結（5月12日リリース）</li> <li>ストックオプションとして新株予約権を発行する件（5月14日リリース）</li> <li>ASCO（米国臨床腫瘍学会）の年次総会で当社のがん領域製品およびパイプライン化合物に関する臨床データなど16報の最新知見を発表（5月16日リリース）</li> <li>抗がん剤「E7389」、前治療歴の多い進行乳がん患者に抗腫瘍効果を示した臨床試験成績をASCO（米国臨床腫瘍学会）の年次総会で発表（5月16日リリース）</li> <li>非イオン性造影剤「イオメロン350」「イオメロン350シリンジ」、肝臓領域のダイナミックコンピューター断層撮影における造影に関する用法・用量等の追加承認を取得（5月22日リリース）</li> <li>グラクソ・スミスクライン株式会社と鼻孔拡張テープ「ブリーズライト」シリーズの販売提携終了に合意（5月29日リリース）</li> <li>無担保社債の発行について（5月29日リリース）</li> </ul>
2008年6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>ヒト型抗ヒトTNF<math>\alpha</math>モノクローナル抗体「ヒュミラ 皮下注40mgシリンジ0.8mL」を日本で関節リウマチの効能・効果で新発売（6月17日リリース）</li> <li>連結子会社である株式会社クリニカル・サプライの株式の譲渡に関するお知らせ（6月19日リリース）</li> <li>ストックオプション（新株予約権）の割当に関するお知らせ（6月20日リリース）</li> </ul>

年月	概要
2008年7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ プロトンポンプ阻害型抗潰瘍剤「アシフェックス20mg」、米国で青年期胃食道逆流症の短期治療に係る追加承認を取得 &lt;7月1日リリース&gt;</li> <li>・ 骨髄異形成症候群患者様を対象として「Dacogen」とサポーティブケアとを比較した欧州がん研究・治療機構（EORTC）により実施されたフェーズⅢ試験における有効性の予備解析結果を公表 &lt;7月1日リリース&gt;</li> <li>・ スtockオプション（新株予約権）の発行内容等確定に関するお知らせ &lt;7月7日リリース&gt;</li> <li>・ 術後24時間までの悪心・嘔吐の予防を効能・効果とする「ALOXI 注射剤0.075mg」を米国で販売開始 &lt;7月9日リリース&gt;</li> <li>・ 骨粗鬆症治療剤「アクトネル錠17.5mg」、骨ページェット病に係る効能・効果の追加承認を取得、骨ページェット病用の新包装を追加 &lt;7月16日リリース&gt;</li> <li>・ 米国における「アシフェックス」の特許侵害訴訟の控訴審で全面的に勝訴 &lt;7月22日リリース&gt;</li> <li>・ 鎮静剤「fospropofol disodium」の承認申請に関するFDA（米国食品医薬品局）からの回答を受領、FDAは今後の承認にいたる方向性を示す非承認通知を発行 &lt;7月26日リリース&gt;</li> </ul>